

係性に敬意を表しつつ、欄に投書した。地域でさる平安朝期の文学は、極の読書の方法の一つだから拍手を送りたい。一クルをつくり、読書会5年前、私は「勝手に」を続けて10年余が経過し響きを私たちに運んでく かもしれない。

自由の声

変化球

ねしれ
国民——前向き
政府——後ろ向き
——核禁止条約
(じゃがいも)

▽引用 本紙の新聞記事掲載日、他紙は紙名も書いてください。書籍は書名のほ 著者名も記してください。
▽読み仮名 地名、寺院 施設名、人名など難読字 複数の読みが考えられるも

紙面

拝見

新聞を開いて、ああ良いニュー スだと喜んで、悪いニュー スだと暗くなったりするが、実 は、良い悪いが混在しているこ ともあるので、注意深く読み進 めてみる。

厚生労働省の調査結果(6月 28日付2面)によると、201 5年の「子どもの貧困率」は13 ・9%であり、12年ぶりに数値 は2・4%改善した。「改善」 とは良い響きだ、良いニュース かもしれない。しかし、子ども の貧困率が13・9%というのは どう評価したらいいのだろうか。子どもも貧困率と云うのは、 平均的な所得の半分に満たない 家庭で暮らす18歳未満の割合を 示したものであるが、13・9%



弁護士 芳野 直子

という数字は7人に1人が貧困 ということを指している。つま り小学校の1クラスが35人とし て、約5人の子どもが貧困かも しれないということである。ク ラスメートの中であの子もあ の子も貧困で苦しんでいるかも し ず、これが12年間改善されな かったというのである。これは 相当悲しいニュースだ。

しかし、どうもおかしい。日

貧困の内実に着目を

本は中国に抜かれたといえど も、国内総生産(GDP)ラン クで世界で第3位の経済大国な のではなかったのか。事実、5 月30日に厚生労働省は、今年4月の 有効求人倍率が1・48倍とな り、バブル期の最高値を超え、高 度成長期以来、43年2カ月ぶり の高水準になったと発表してい る(5月31日付経済面)。これは 久々に良いニュースかもしれない

ま、いつの間にか、「貧困」と いう事態が、子どもたちにまで 差し迫ってきていることが記事 の行間からにおい立つ。

先の子どもの貧困で言うと、 ひとり親家庭の貧困率は何と50 %を超えているという。私は仕 事柄、離婚に関する相談を受け ることも多いが、経済的な理由 でドメスティックバイオレンス (DV)などの問題がある家庭

い。しかし、読み進めると、 非正規労働者数は2004万人 に増加し、内実はバブル期とか なり違い、1人当たりの賃金が 依然低いままなのだそうであ る。ぬか喜びしてしまった、こ れも残念なニュースであった。

でも離婚に踏み切れないことも あるし、実際に離婚をして子ど もを引き取った側の親が、就職 先を探しても非正規労働しか見 つからずに、経済的に困窮して いる事案も少なくない。一人一 人の個人的な努力ではどうしよ うもない構造的な問題が立ちは だかっていることを実感する。

子どもは生まれる国や地域や 家庭を選べない。子どもには何 の責任もないところで、貧困を 背負わされているとすれば、大 人はその事実に関心でいるわ けにはいかない。悪いニュー スの現実を受け止めて、良いニュー スになるように社会をつくっ ていくことが必要なのだろう。

よしの・なおこ(横浜弁護士 会 現神奈川県弁護士会 元副 会長。NPO法人消費者支援か ながわ理事。横浜市在住)